

首都圏における地域 MD 戦略の深耕

～「質ある成長」によるオンリーワン企業を目指して～

ゼビオグループは、2015年10月23日にご案内しておりました東京都および神奈川県に展開する大型総合スポーツ小売事業のグループ会社間移管を、2017年9月1日に完了いたしました。

今回の移管完了に合わせて、ゼビオグループの首都圏における取り組みにつきまして、改めて以下にてご案内申し上げます。

記

1. 移管の背景

人口が集中する首都圏は、今後も市場規模の拡大が見込まれており、また他の地域と比較して市場環境の変化のスピードが速く、消費行動も多様性に富んでおります。

このような状況下ゼビオグループは、グループの成長戦略上、首都圏における総合スポーツ小売事業の成長も重要なテーマの一つと位置付けております。ゼビオグループが当該地域でオンリーワンの存在となる為には、これまで以上に地域のニーズを的確に捉えた業態、マーチャンダイジングの深耕が不可欠と判断し、本施策を強力に推進させる体制を検討した結果、創業当初から首都圏で事業展開を行い、2005年のゼビオグループ入り以降、グループDNAの一つであるスポーツが持つ価値をお客様に提供する接点である「Value Point」を重視した経営の浸透を進めてきた株式会社ヴィクトリアが、その任務を担うことが最適と考え、東京都および神奈川県での事業運営を同社に集約することを決定いたしました。

2. 首都圏における総合スポーツ小売事業の取り組み方針

この移管により株式会社ヴィクトリアは、当該地域全体を俯瞰した出退店戦略の構築や、商品・人材の機動的な店舗間移動を推し進め、これまで以上に効率的な経営を進めてまいります。また商品取扱量の増加に伴い、当該地域に特化した業態開発や地域MDの実践にこれまで以上の規模と機動力で取り組み、量だけではなく質を伴った成長を遂げ、当該地域のオンリーワン企業を目指してまいります。

ゼビオグループの成長には、地域の皆様に愛され支持される店舗づくりは不可欠と考えております。その上で、地域に根差した従業員がお客様をお迎えできるよう、従業員の働き方の多様性に対応した制度の導入も合わせて進めております。ゼビオグループは、地域に徹底的に拘った経営を追求し、持続的な成長の実現に向け邁進してまいります。

《ご参考》

【2017 年 9 月 1 日に移管を完了した店舗】

都道府県	店舗名
東京都	スーパースポーツゼビオ 葛西店
	スーパースポーツゼビオ 多摩境店
	スーパースポーツゼビオ イオンモール日の出店
神奈川県	スーパースポーツゼビオ アリオ橋本店
	スーパースポーツゼビオ 川崎ルフロン店
	スーパースポーツゼビオ ヴィスボ横須賀店
	スーパースポーツゼビオ トレッサ横浜店
	スーパースポーツゼビオ ららぽーと横浜店
	スーパースポーツゼビオ 港北ノースポート・モール店
	スーパースポーツゼビオ 横浜みなとみらいクイーンズイースト店
	スーパースポーツゼビオ テラスモール湘南店
	スーパースポーツゼビオ ららぽーと湘南平塚店

※上記店舗に併設、隣接するゼビオ株式会社運営店舗も合わせて移管しております。

【2017 年 8 月 31 日以前に移管を完了した店舗】

都道府県	店舗名
東京都	スーパースポーツゼビオ オリナス錦糸町店
	スーパースポーツゼビオ 豊洲店

※上記店舗に併設、隣接するゼビオ株式会社運営店舗も合わせて移管しております。

【本移管に伴うゼビオ株式会社と株式会社ヴィクトリアの店舗数推移】

	2017 年 8 月 31 日現在		2017 年 9 月 1 日現在
ゼビオ株式会社	408		378 (▲30)
株式会社ヴィクトリア	81		111 (+30)